

SCIENCE PARK

関西大学初等部中等部高等部 理科通信

2025年10月1日発行

昆虫を育てよう！(E3理科)

授業者：孕石 泰孝

昆虫の学習でカイコを育てました。最初は苦手を感じる子もいましたが、毎日お世話すると愛着が湧いてくるものです。名前を付けたり、手にのせたり、お家を作ったりと2週間ですっかり慣れました。

5齢幼虫にもなると、クワの葉を食べる量が増え、子どもたちは大喜びでした。さらに、まゆから出てきた成虫をよく見るとアニメのキャラクターみたいと大人気でした。やがて、寿命が過ぎてしまったカイコを「お家で埋めてあげたい」という子もいました。約1ヶ月の短い期間でしたが、生き物の素晴らしさを感じる素敵な時間でした。



2025.6.25

葉脈標本のしおりをつくろう！(J1理科β)

授業者：安田 尚代



2025.7.18

夏休み前の最後の授業！みんなで何かを作りたいねと、今までの学習の集大成として葉脈標本のしおりを作成しました。使用したのはヒイラギモクセイの葉。葉脈が太く丈夫なため、葉肉を取り除くと、透き通っていてとってもきれい！色を塗ったりリボンを付けたりとみんな思い思いに葉脈標本をしおりにして、大盛り上がりでした。次は、どんな葉脈を観察しようかな？

ニワトリの心臓の解剖 (J2理科β)

授業者：鈴木 恭輔

ヒトの心臓と似たつくりをもつ、ニワトリの心臓の解剖を行いました。授業で学んだ知識を活かして解剖するからこそ、構造が理解できる面白さがあります。心臓の手触りや大きさを確認して、内部の構造を観察しました。「思っていたよりも右心室が小さい」「爪楊枝を差すと、感触で弁の様子もわかった」など、生徒たちは様々な発見をしていました。



2025.9.1

DNAの複製方法の検証 (S1生物基礎) 授業者：福島 大樹



2025.6.30

二重らせん構造をしているDNAは生物の遺伝子としてはたらき、生物の構造や機能を決定づけていて、そのDNAは新しい細胞を作り出すたびに複製されます。そこで、この授業では、メセルソンとスタールが実験で検証した方法が紹介され、その内容を踏まえて、生徒たちはDNAの複製方法についてグループで議論を重ねました。生徒一人ひとりが次々に出てくる「なぜ？」の問いを徹底的に話し合い、みんなで解決へとつなげることができました。